

## 受賞おめでとう ございます

◎生活安心課 36-7153

法務大臣表彰(人権擁護委員)



柿本 恵子 さん  
(川根町家山)

長年に渡り、深い見識を持って活動に尽力された功績が讃えられた市民が、法務大臣表彰を受賞されました。

▼平成22年7月に、法務大臣から人権擁護委員を委嘱され、以来、5期13年の永きにわたり、人権擁護に務められています。活動経験が豊富で、人権擁護についての深い理解と高い見識を持たれ、その活動に尽力された功績が讃えられました。

## 地方創生の推進に向けた連携に関する協定を締結

◎戦略推進課 36-7120

9月26日、市としずおか焼津信用金庫は地方創生の推進に向けた連携に関する協定締結式を行いました。

協定は、互いの資源を有効に活用した協働により、地方創生および持続可能な地域社会の実現を目指すものです。しずおか焼津信用金庫の田形和幸理事長は「地域の未来に貢献する社会活動として、私たちができることをしたい。この思いが、市民や従業員、お客さまに見える形やっけていきたい」と話しました。



協定書に署名する田形理事長(右)と染谷市長

## 島田ガス共同企業体から市へ電気自動車を引き渡し

◎資産活用課 36-7169

10月10日、新庁舎の開庁に合わせて、島田ガス(株)共同企業体から市への、電気自動車引渡式が行われました。

今回の貸与は、同企業体と市が締結している「SDGsを先導し持続可能なまちづくりを推進する電力供給等業務に関する協定」の一環で行われるものです。市では今後、電気自動車等設備のマルチユースの実証を進めていきます。

### 【貸与内容】

- ◎電気自動車・充放電器(6年)、太陽光発電設備(15年)、蓄電池(10年)



新家博之社長から引き渡しを受ける染谷市長

## 観光産業の発展を目指して友好提携協定を締結

◎観光課 36-7399

9月18日、本市と氷見市の両観光協会が、友好提携協定を締結しました。

コロナ禍で延期されていた協定締結が、この日ようやく実現。長年、姉妹都市として培った両市の絆と信頼関係を基に、観光分野でさらなる協力体制を構築します。締結式で(一社)島田市観光協会の柴田亘代表理事は「コロナ禍で実現できなかった友好提携協定の締結がかない、うれしく思う。本日を皮切りに、交流を深めていきたい」と話しました。



柴田代表理事(左)と氷見市観光協会の松原代表理事

## 消防団が内閣総理大臣表彰を受賞

☎危機管理課 36-7212

9月26日、島田市消防団が防災功  
労者内閣総理大臣表彰を受賞したこ  
とを市長に報告しました。

昨年、台風15号の被害において、防  
災・減災・早期復旧に尽力した功績が  
認められ、受賞しました。藤原達郎団  
長は「人命の被害が出なかったこと  
が一番。各隊員が、自発的に情報を  
確認し、落ち着いて行動できた結果  
だと思う。風水害での経験、教訓を  
得て、次に生かしていきたい。今回  
の受賞を誇りに思う」と話しました。



受賞報告をする消防団員

## VELTEX静岡とファミリータウン協定を締結

☎スポーツ振興課 36-7219

9月18日、プロバスケットボール  
チームVELTEX静岡と市は、ファミ  
リータウン協定を締結しました。

本協定は、子どもたちの健全育成  
やスポーツを通じたにぎわい創出な  
どの連携により、双方の資源を活用  
した持続的な地域の発展に資するこ  
とを目的としています。式で、松永  
康太代表取締役社長は「人づくり、街  
づくり、夢づくりができるよう貢献  
していきたい。このプレシーズン  
マッチで、夢を与えられたらうれし  
い」と抱負を述べました。



協定書を手にする松永社長(中央)と染谷市長

## 島田金谷インターチェンジ周辺に新たな工場が完成

☎内陸フロントエリア推進課  
36-7125

10月17日、堤間地区工業用地(牛  
尾)にペーパーレット株の新本社兼工  
場が完成し、竣工式が行われました。  
式典には、地元自治会長をはじめ、  
市関係者など約80人が出席。同社の  
乙黒昇太郎社長は「お茶や木材の廃棄  
品を活用した、新たな商品開発に取り  
組みたい」と新工場での抱負を述べま  
した。来年1月までに本社の移転と  
工場の稼働を開始し、その後には点在す  
る工場と倉庫を集約する予定です。



あいさつをする乙黒社長

## 島田木材協同組合が木製記載台を寄贈

☎庁舎建設課 36-7959

9月21日、市役所新庁舎に配置す  
る記載台の寄贈式が行われました。

島田木材協同組合から寄贈された  
記載台は、大井川流域産の杉で作ら  
れています。川村右介理事長は「杉は、  
やわらかく、加工しやすい。樹齢40  
年から50年の良いところだけを使っ  
て作った。新庁舎の内装とも合っ  
ていて、使うほど味わいが出る。多く  
の市民が触れる所に、置いてもらえ  
て良かった」と話しました。新庁舎  
の1階と2階に、合計7台を配置し  
ています。



目録を手渡す川村理事長(左から2番目)